

平成19年度環境技術実証モデル事業検討会
VOC処理技術ワーキンググループ会合（第4回）
議事要旨

1. 日時：平成20年3月14日（金）10:00～12:00
2. 場所：経団連会館 8階富士の間
3. 議題
 - (1) 平成19年度第3回WG議事概要について
 - (2) 平成19年度VOC処理技術実証試験結果報告書の検討
 - (3) 実証試験要領の見直しについて
 - (4) 今後のスケジュールについて（予定）
 - (5) その他
4. 出席検討員：坂本和彦（座長）、岩崎好陽、尾形敦、土井潤一、保坂幸尚、本田城二
欠席委員：中杉修身
5. 配付資料
 - 資料1 平成19年度VOC処理技術WG会合（第3回）議事概要
 - 資料2-1 実証試験結果報告書（有限会社アマリ精工）
 - 資料2-2 実証試験結果報告書（ワイピー設備システム株式会社）
 - 資料2-3 実証試験結果報告書（吸着技術工業株式会社）
 - 資料3 中小事業所向けVOC処理技術実証試験要領の見直し方向性について
 - 資料4 中小事業所向けVOC処理技術実証試験要領（素案）
 - 資料5 今後のスケジュールについて（予定）
 - 参考資料1 平成20年度環境技術実証事業実施要領（暫定版）
6. 議事

会議は公開で行われた。

 - (1) 平成19年度第3回WG議事概要について
 - ・資料1を配付し、意見等については事務局が個別に受け付け対応することとなった。
 - (2) 平成19年度VOC処理技術実証試験結果報告書の検討
 - 実証機関である（財）東京都環境整備公社より、資料2-1および資料2-2の実証試験結果報告書に基づき説明。
 - ・検討員より、イニシャルコストに関する記載、目標としていた処理率よりも試験結果が下回った原因などに関する注記、測定機器のキャリブレーションに関する注記などを追加することについて指摘があった。
 - ・実証試験結果報告書については、指摘事項を修正の上、ワーキンググループとして了承し、今後環境省で承認の手続きに入ることが確認された。

実証機関である（財）九州環境管理協会より、資料２－３の実証試験結果報告書に基づき説明。

- ・ 検討員より、実証試験実施場所における排ガス特性が実証対象機器の設計能力と一致していなかったことに関する注記を追加することについて指摘があった。
- ・ 実証試験結果報告書については、指摘事項を修正の上、再度ワーキング検討員に諮った上で、今後環境省で承認の手続きに入ることが確認された。

(3) 実証試験要領の見直しについて

- ・ 事務局から、資料４、資料５に基づき、実証試験要領の見直し方向性について説明。

(4) 今後のスケジュールについて

- ・ 事務局より、資料６に基づき説明。

(5) その他

- ・ 特になし。

(文責：環境省水・大気環境局環境管理技術室 速報のため事後修正の可能性あり)